

失敗しない 撮影術

基本を守れば手ぶれは防げる！

最近のデジカメは、全てと言ってよいほど「手ぶれ補正機能」が付いていますが、手ぶれ補正機能が付いているからといって安心はできません。実際に撮影した写真の中には手ぶれ写真がたくさんあることがあります。機械任せにはかりしないで、手ぶれの原因を理解すれば、手ぶれ写真の発生率も減少します。手ぶれない綺麗な写真撮影の参考にしてください。(バックナンバー:2009年7月号も合わせてご覧ください)

「ぶれ」ない写真を撮るための4つの基本

手ぶれ補正機能があるからといって、必ずしもぶれない写真が撮れるわけではありません。フラッシュを発光させてシャッタースピードを速くする方法もありますが、チョッと不自然な写真になったりもします。手ぶれ写真の発生率を下げる基本を抑えておきましょう。

手ぶれ対策の4ヶ条

1. 手ぶれ補正機能は常時ON!

手ぶれ補正機能は常時ONで使用するべし。

2. 感度を上げる!

感度を上げてシャッタースピードを速くするべし。

3. スームは使わない!

手ぶれも増大させるズームは御法度。

4. カメラを固定する!

カメラは三脚で固定するべし。

それでも心配な時は、フラッシュ発光で1枚!

暗い室内は、保険のために1枚撮るべし。

機種により補正能力に差はありますが、**手ぶれ補正機能は常時ONが基本**です。



三脚使用時はOFFをオススメします。カメラが三脚と共に振動する揺れは、人間の手ぶれの揺れと違うため、手ぶれ補正機能の誤動作の原因になるようです。

それでも「ぶれ」た写真が発生したら・・・

■被写体が動いていませんか?

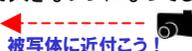
動いている被写体に対しては、シャッタースピードを上げるしか対応策はありません。しかし、シャッタースピードを速くするためにISO感度を上げると写真全体がザラザラした感じの写真になってしまいます。ザラザラ感があっても「ぶれ」のない写真が良いのか、「ぶれ」があってもスッキリした写真が良いのかは、撮影者の判断です。「どんな写真が撮りたいのか」が大事ですね。



ISO感度とはカメラが光を捕らえる能力を表す値で、**数値が大きいくらい少ない光で撮影できます**。ISO感度の設定は、多くの機種でMENUボタンからでてくるメニューから設定できます。撮影モードのある機種ではモードにより設定できない場合もあります。カメラの説明書を確認してください。



自分が近づくことができる場合は**ズーム**を使わず、**被写体に近づくのが基本**です。ズーム撮影はカメラの僅かな揺れが増大して大きなブレになってしまいます。

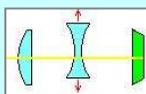


マクロ、望遠撮影では三脚の使用が基本ですが、その他の撮影でも**三脚使用が基本**です。カメラをテーブルに置き、セルタイマーで撮影するのもありますね。また、撮影する自分の身体を木や建物、手摺りなどに付けて**身体の揺れを抑える**のも効果があります。



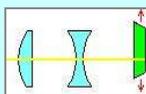
2種類の手ぶれ補正機能

手ぶれ補正機能は、シャッターが開いている間のカメラのブレを検知して、それを打ち消すようにする機能です。その方法には、**レンズを動かすレンズシフト式**と、**センサーを動かすセンサーシフト式**の2つの種類があります。どちらも光学式手ぶれ補正機能と呼ばれますが、それぞれにメリットがあります。



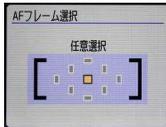
レンズシフト式は、ファインダーや背面液晶の画像が手ぶれ補正されたものになりますので、

揺れの少ない安定した画像を見ながら撮影ができます。この方式を採用するのは、キヤノン、ニコン、パナソニックなどです。



一方、センサーシフト式は、カメラ本体の撮像素子(センサー)を動かすので、**レンズを選びません**。レンズ交換式の一眼レフカメラでは、昔の**レンズでも手ぶれ補正の効果**が得られます。ソニー、オリンパス、ペンタックスなどのメーカーが採用しています。

昔の**レンズでも手ぶれ補正の効果**が得られます。ソニー、オリンパス、ペンタックスなどのメーカーが採用しています。



スマートフォンでぶれずに撮る!

最近のスマートフォンのカメラは性能が良くなり、デジカメの代わりに利用している方も多いと思います。スマートフォンにも手ぶれ補正機能が付いた機種がありますが、チョツとしたコツで効果がアップします。

スマートフォンの場合、シャッターボタンの他に画面タップでシャッターが切れる機種もあります。タップした振動でブレることがあるので注意が必要です。



スマートフォンのシャッターは押したタイミングではなく、離れたタイミングで切れるようになっているので、シャッターマークを押したまま構図を決めて、決まったらそっと指を離せばブレは抑えられます。撮影をキャンセルする場合は、シャッターマークから指をズラせばOKです。スマートフォンでもブレを抑えた綺麗な写真が撮れますよ。

レンズを装着してスマホ撮影を楽しもう!



スマートフォンでの撮影を楽しむ携帯用のレンズユニットをご紹介します。左の製品はマグネットでレンズを取り付けます。カメラレンズの周囲にマウント用のリングを張っておくだけで、



必要な時だけレンズを装着できます。レンズの種類も、望遠用、広角用、マクロ用のほか、フィッシュアイもあります。

(トダ精光)

マクロレンズを装着して撮影

下の製品はストラップにレンズが付いています。粘着クッションで何度でも装着でき、レンズ以外にフィルターもあり、楽しい演出もできます。

(ケンコー・トキナー)



特殊なフィルターもあります

■夏期休業期間のご案内

2012年8月11日(土)~8月15日(水)

上記の期間は夏期休業とさせていただきます。

尚、8/11(土)~8/15(水)の間のお問合せ、製品注文メールへの対応は8/16(木)以降になります。

ご迷惑をおかけ致しますが何卒ご了承下さい。

開発室から



ロンドンオリンピックが始まりましたが、9時間の時差はチョツと辛いですね。開会式を見ようと5時まで起きていましたが、始まったとたんに寝てしまい、気が付けば日本選手団の入場行進でした。各競技の決勝も早朝にあるので、しばらく寝不足になりそうです。

